

研究タイトル：

## 学習・教育を通じた安全まちづくりの支援技術



氏名：	目山直樹 / MEYAMA Naoki	E-mail：	meyama@tokuyam.kosen-ac.jp
職名：	准教授	学位：	工学修士，技術士
所属学会・協会：	日本都市計画学会，日本建築学会，土木学会，日本技術士会など		
キーワード：	都市計画，交通計画，空間設計，都市史，計画技法，支援技術，AT		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市や都市計画のマスタープランに関する計画支援技術</li> <li>・街路や公園など都市施設の計画・設計の支援技術</li> <li>・住民参加型まちづくりの支援技術（ワークショップの企画・ファシリテーション）</li> <li>・防災教育や交通安全教育など安全・安心のまちづくり支援技術</li> </ul>		

### 研究内容： 防災まちづくり・安全まちづくりに関する学習と効果

【防災まちづくり・防災教育の学習と効果】 ※河川財団の研究助成 2 件 ⇒ 設備・機器 ①および②

1. **山口県下での防災出前授業を通じた学習と効果** ※2010 年度～現在 山口県教育庁学校安全・体育課との連携
  - ・土砂災害の起きるメカニズムを学ぶ実験 3 種と，ハザードマップを使用した防災対応力の向上を図る学習の実施
  - ・事前，事後アンケートによる受講者の意識変化の把握
2. **防災教育ツールの開発と小・中学校での実践** ※2011～2019 年度 防府市防災危機管理課との共同研究など
  - ・2009 年の防府市における土砂災害を契機として，防府市内の小・中学校を巡回して「防災授業」を実施してきた。
  - ・防府市を含み，巡回して一緒に学んだ児童・生徒は約 1 万 6 千人に上る。
  - ・防災出前授業は 2 校時，90 分程度。
3. **安全まちづくり学習** ※2021 年度 周南市立周陽中学校との実践教育の成果
  - ・中学生を対象に住んでいる町の成り立ちを知り，都市計画的な特徴を理解したうえで，防災，防犯，交通安全の面から地域の安心・安全を評価し，改善のための提案を行う学習を行った。都合 4 回の授業。

【住民参加型ハザードマップ策定支援ツールの開発】※2019～2021 年度 山口県砂防課との共同研究 ⑤

- ・率先避難を促すために，地域住民が自ら地域を知り，防災について考え，避難行動につなげるための実践的な活動と研究成果を取りまとめた。
  - ・今後，作成したツールを使用して，必要としている地域社会と連携して，ハザードマップを作成する予定である。
- Web サイト：<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/131/148274.html>

【安全まちづくり・交通安全教育の学習と効果】 設備・機器 ③および④

1. **通学路の安全対策** ※2014～2016 年度 科学研究費補助金（挑戦的萌芽的研究）など
  - ・地域社会と学校・行政が連携した交通安全の取組み手法の開発として，定点観測と交通安全教育を組み合わせた手法を開発した。行政の行う道路空間整備と学校の交通安全指導を連携させた取組みなどにつなげている。
2. **自転車の交通安全教育** ※山口県通学路安全対策アドバイザーの活動を通じて
  - ・1.の取組みの延長で，小学生向けの交通安全教育動画を作成し，視聴前後での交通安全順守に対する意識の変化を計測するなどの実践をしてきた。2022 年度は中学生向けの交通安全教育動画を作成し，山口県教育庁ならびに周南市教育委員会と共有している。

### 提供可能な設備・機器：

名称・型番（メーカー）		
①	両手で持てる土石流実験模型 自家製 800mm	アルミケースに 2 本もしくは 3 本入り
②	地すべり実験模型 自家製	
③	小学生向けの自転車安全教室 DVD 12 分	※web ページで公開中
④	中学生向けの自転車安全教室 DVD 18 分	※web ページで公開中
⑤	住民参加型土砂災害ハザードマップ策定支援ツール 自家製	※山口県砂防課の web ページで公開中